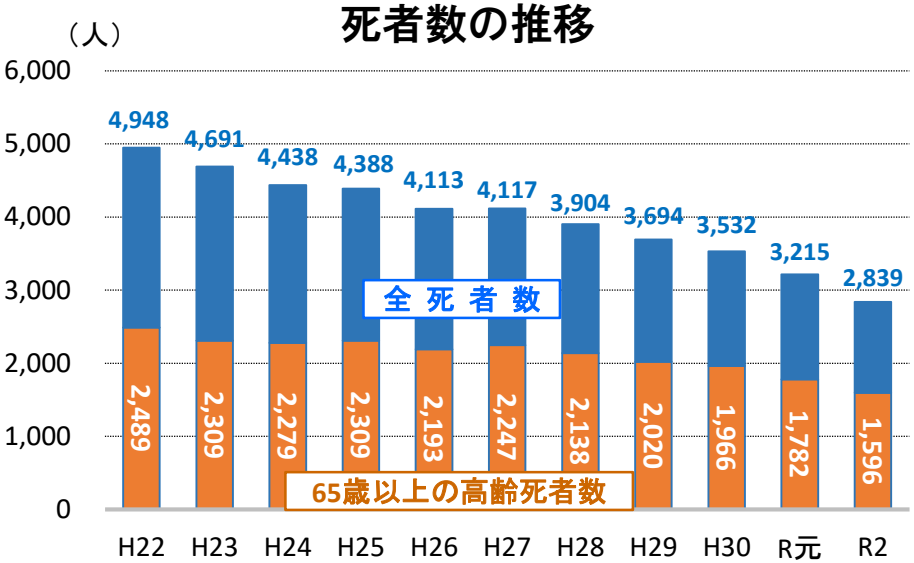
令和2年における交通事故の発生状況等について

令 和 ３ 年 ２ 月 １ ８ 日
警　察　庁　交　通　局

（注）・ 本資料は、令和3年1月27日までに入手したデータにより作成したものである。
・ 数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。

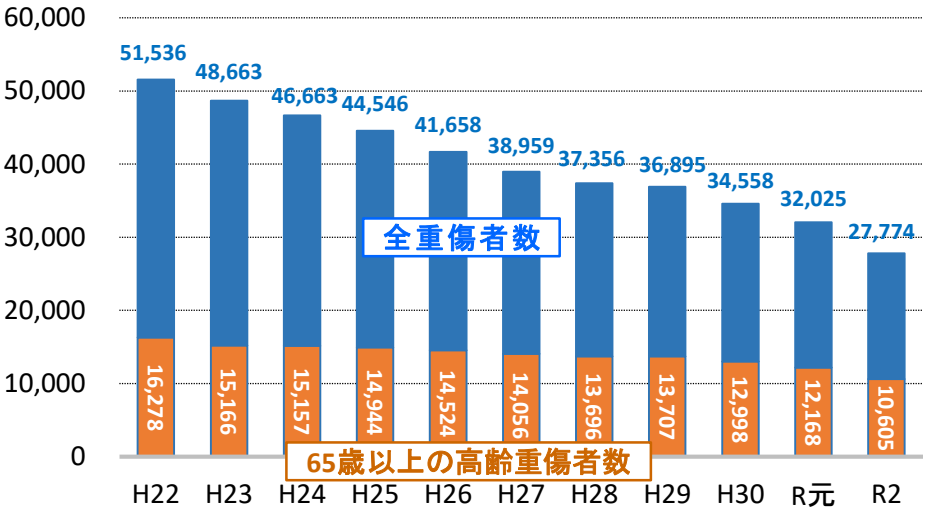
1　交通事故死者数・重傷者数の推移

死者数の推移



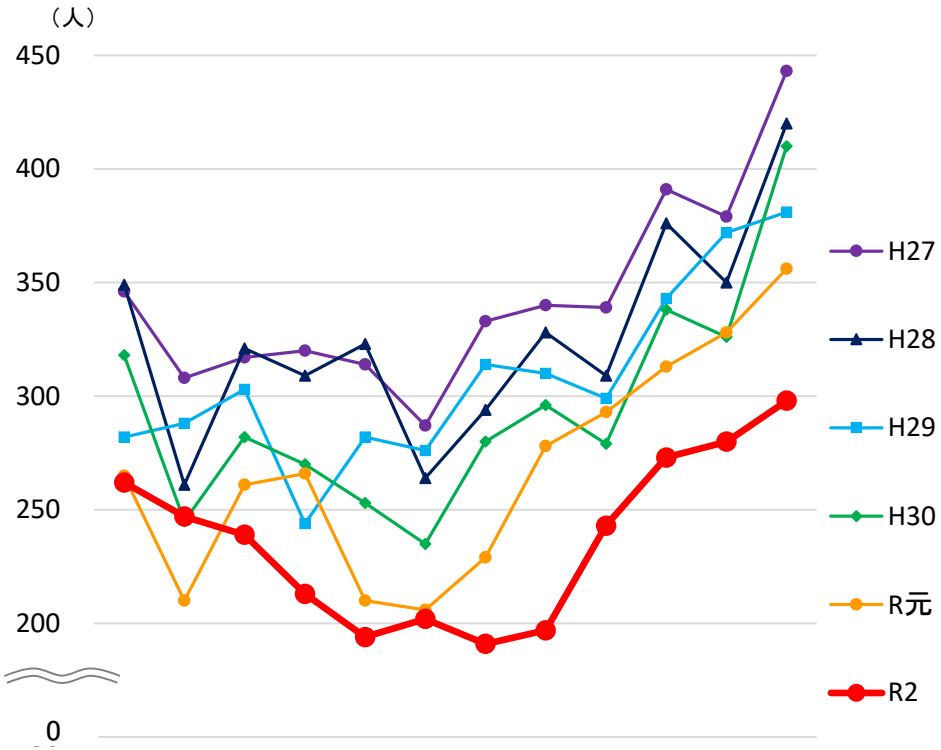
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者の割合	50.3%	49.2%	51.4%	52.6%	53.3%	54.6%	54.8%	54.7%	55.7%	55.4%	56.2%

重傷者数の推移



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者の割合	31.6%	31.2%	32.5%	33.5%	34.9%	36.1%	36.7%	37.2%	37.6%	38.0%	38.2%

月別交通事故死者数の推移

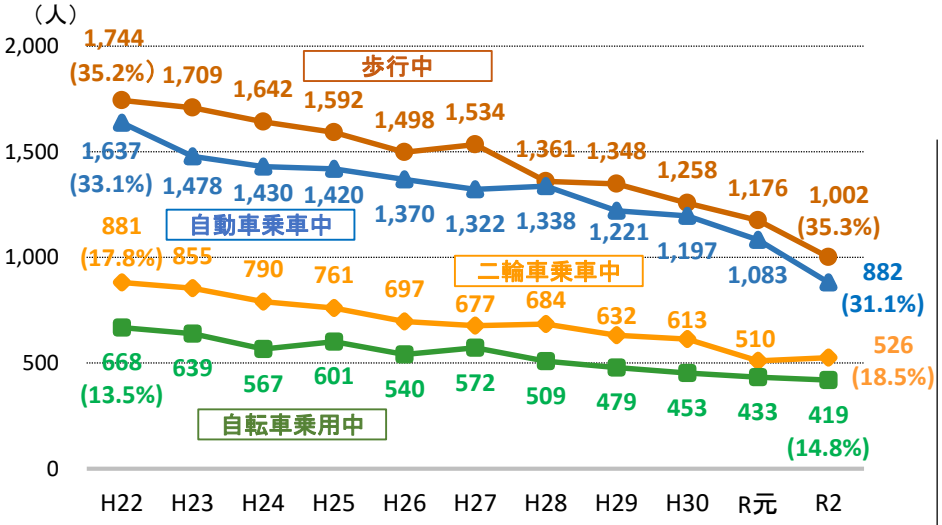


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H27	346	308	317	320	314	287	333	340	339	391	379	443	4, 117
H28	349	261	321	309	323	264	294	328	309	376	350	420	3, 904
H29	282	288	303	244	282	276	314	310	299	343	372	381	3, 694
H30	318	245	282	270	253	235	280	296	279	338	326	410	3, 532
R元	265	210	261	266	210	206	229	278	293	313	328	356	3, 215
R2	262	247	239	213	194	202	191	197	243	273	280	298	2, 839
増減数	−3	37	−22	−53	−16	−4	−38	−81	−50	−40	−48	−58	−376
増減率	−1.1	17.6	−8.4	−19.9	−7.6	−1.9	−16.6	−29.1	−17.1	−12.8	−14.6	−16.3	−11.7

（注）・ 増減数（率）は前年との比較である。

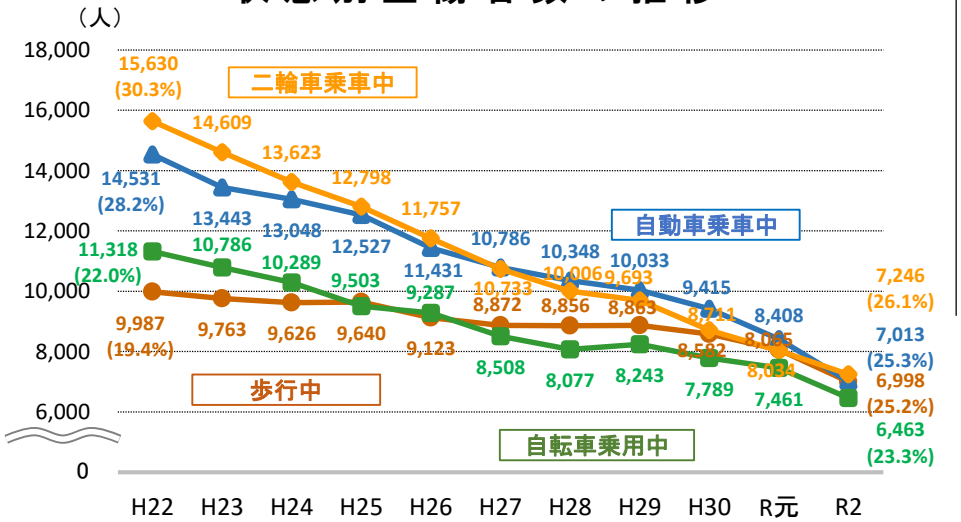
1－2　交通事故死者数・重傷者数の推移

状態別死者数の推移



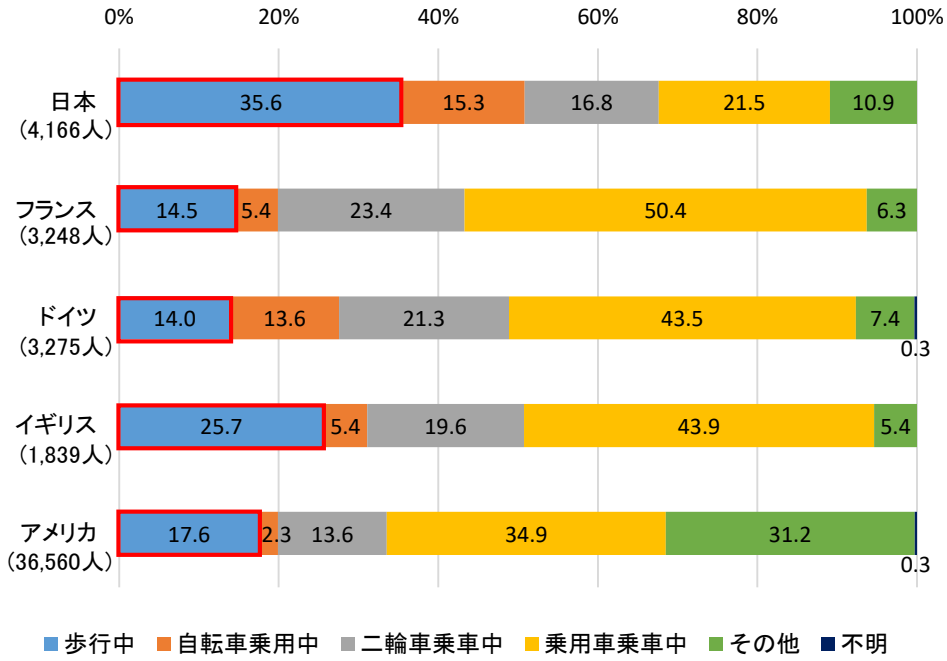
（注）・（ ）内は全死者数に占める構成率

状態別重傷者数の推移



（注）・（ ）内は全重傷者数に占める構成率

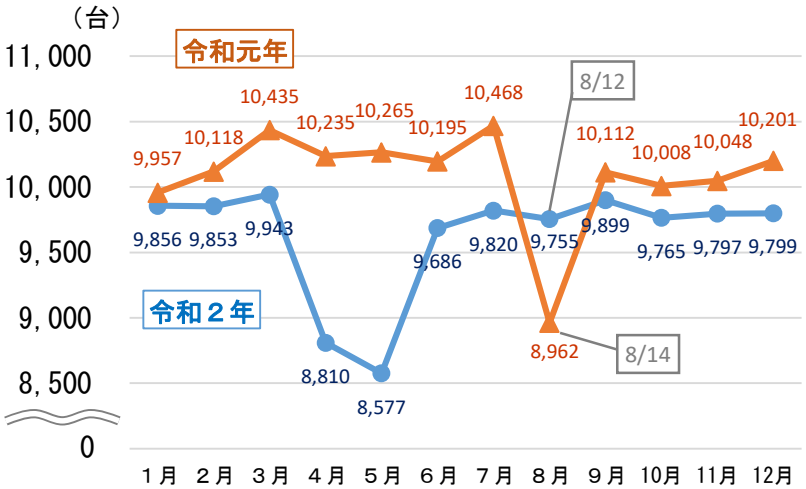
国別状態別30日以内死者数の構成率比較（2018年）



2　令和2年における交通事故死者数等の特徴（交通量）

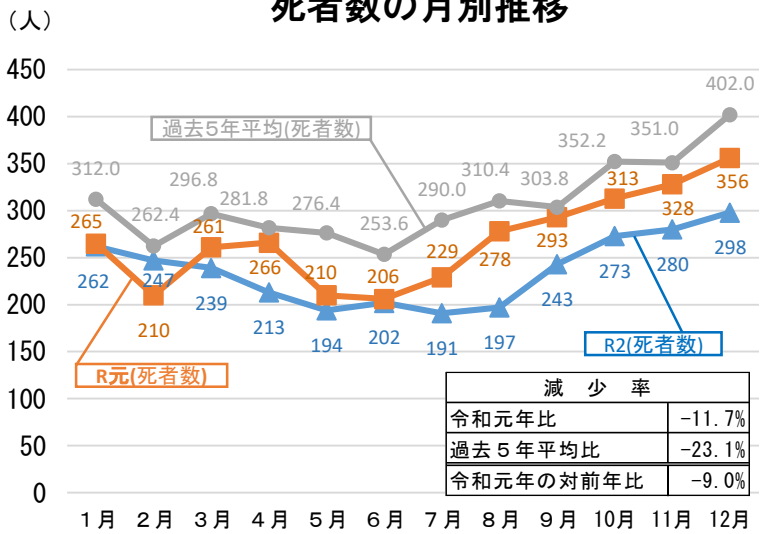
【参考】

月別交通量の推移



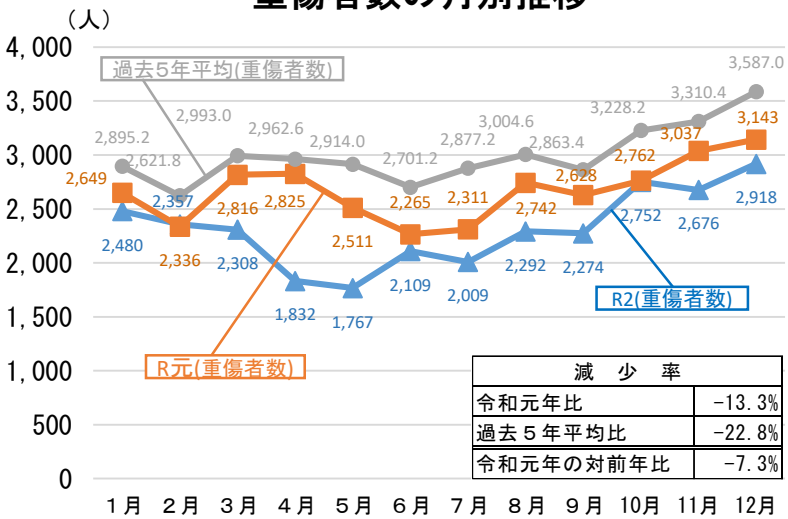
（注）・ 都道府県警察保有の車両感知器による各月第3週水曜日の交通量を抽出し、車両感知器1台当たりの交通量を算出した。

死者数の月別推移



減　少　率	
令和元年比	−11.7%
過去５年平均比	−23.1%
令和元年の対前年比	−9.0%

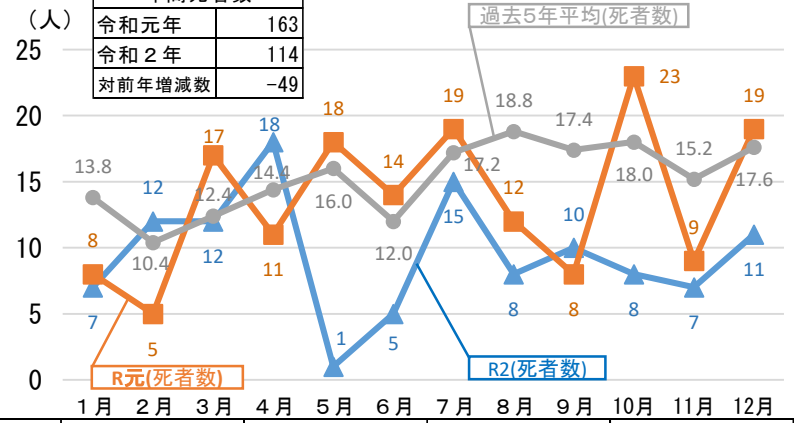
重傷者数の月別推移



減　少　率	
令和元年比	−13.3%
過去５年平均比	−22.8%
令和元年の対前年比	−7.3%

（注）・ 過去5年平均は、平成27年から令和元年の平均である。以下同じ。

高速道路における月別交通事故死者数の推移



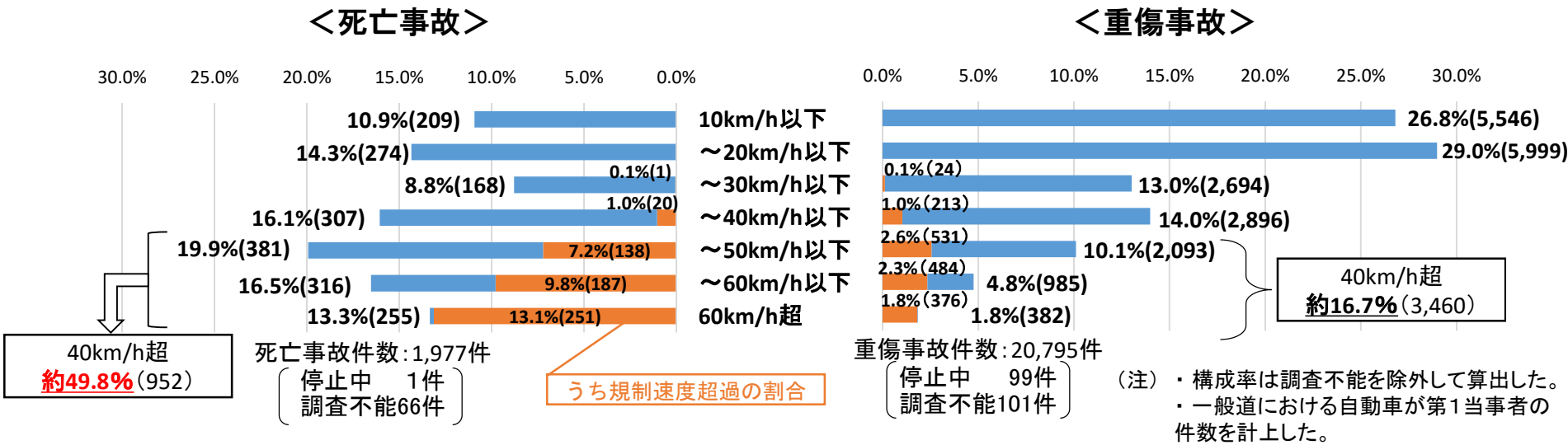
年間死者数	
令和元年	163
令和２年	114
対前年増減数	−49

NEXCO系交通量	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
前年同期比	97.3%	72.3%	87.7%	−

（注）・ NEXCO系交通量は、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)及び西日本高速道路(株)の交通量で、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構「各高速道路会社の交通量データ」をもとに警察庁が作成

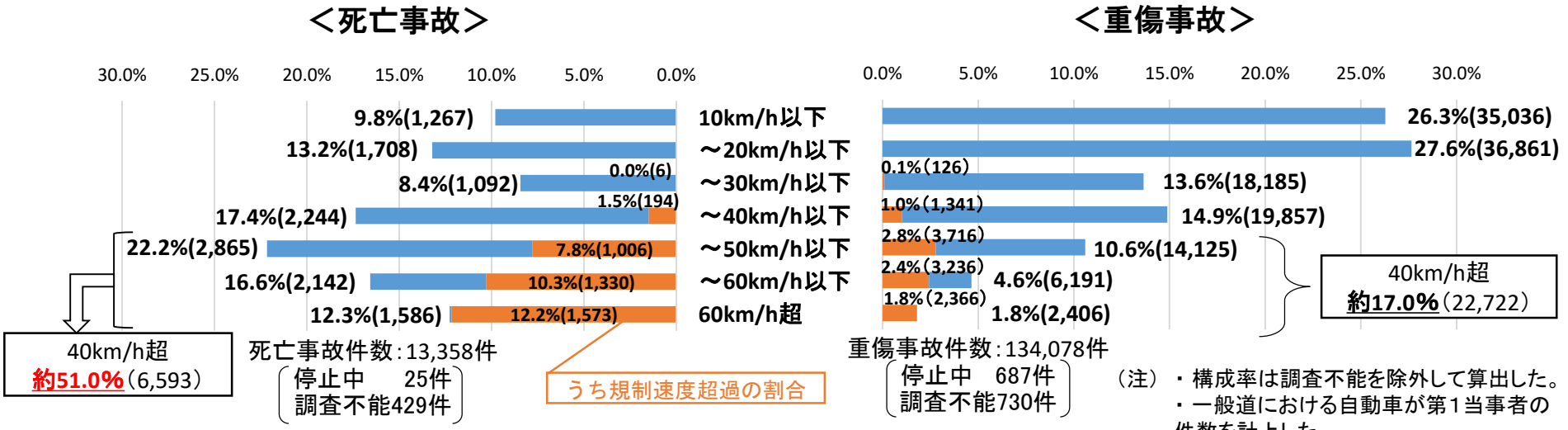
２－２　令和2年における交通事故死者数等の特徴（危険認知速度）

危険認知速度別交通事故件数（令和２年）



（注）・構成率は調査不能を除外して算出した。
・一般道における自動車が第1当事者の件数を計上した。

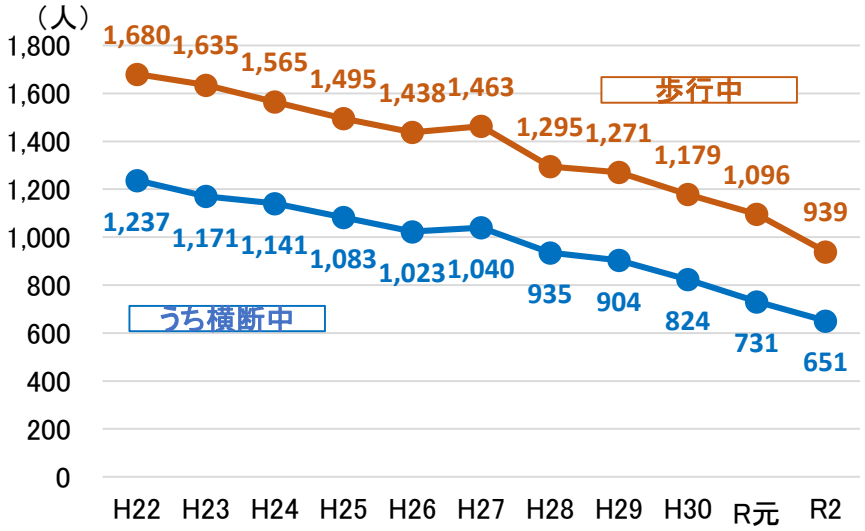
危険認知速度別交通事故件数（平成27年～令和元年）



（注）・構成率は調査不能を除外して算出した。
・一般道における自動車が第1当事者の件数を計上した。

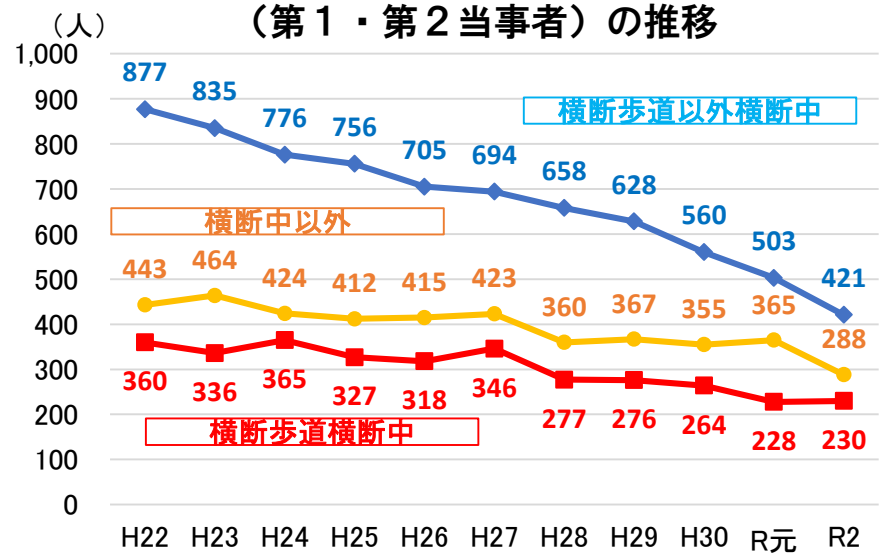
3　歩行中死者数等の状況

歩行中死者数（第１・第２当事者）の推移

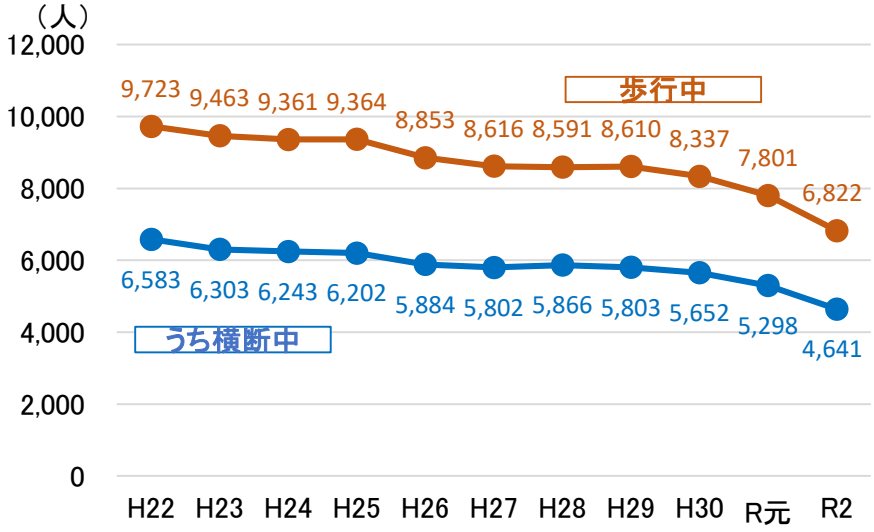


（注）・列車事故を除く。

事故類型別歩行中死者数（第１・第２当事者）の推移

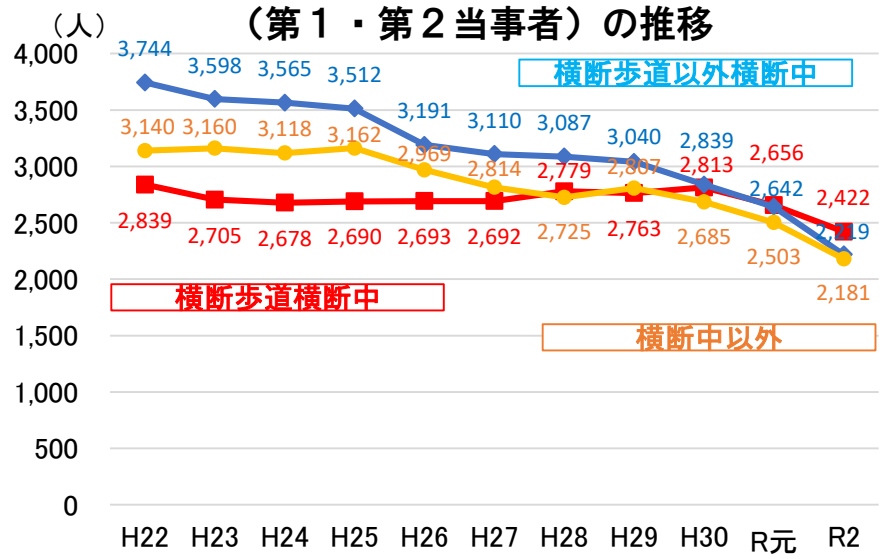


歩行中重傷者数（第１・第２当事者）の推移



（注）・列車事故を除く。

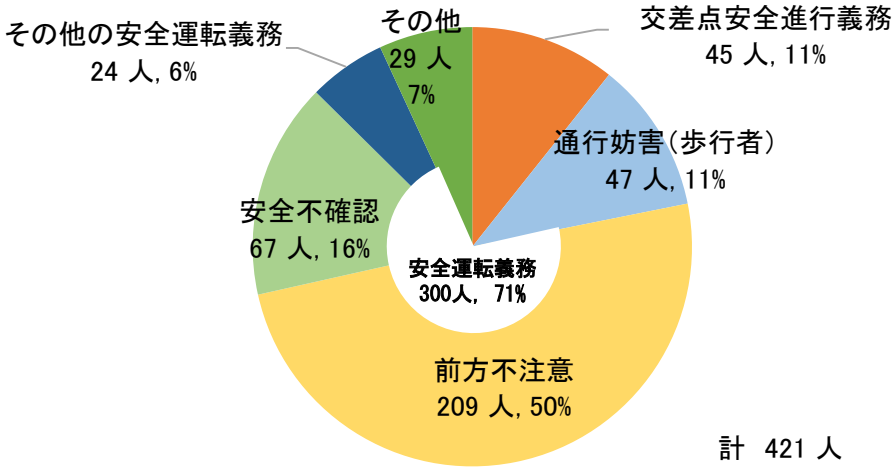
事故類型別歩行中重傷者数（第１・第２当事者）の推移



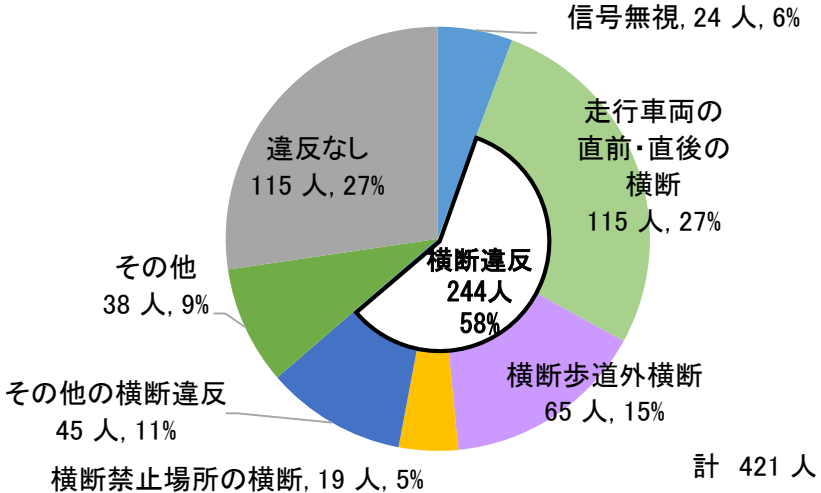
３－２　歩行中死者数の状況

横断歩道以外横断中事故における法令違反別 歩行中死者数（第１・第２当事者）【令和２年】

〈車両等の法令違反別〉

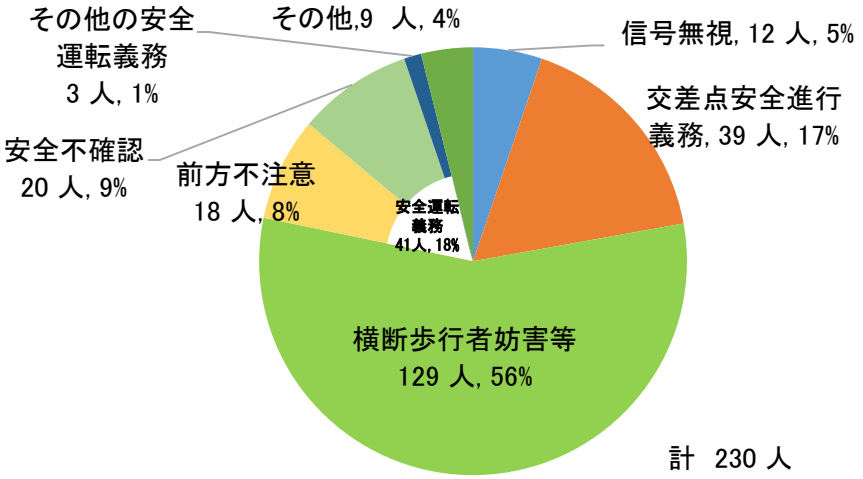


〈歩行者の法令違反別〉

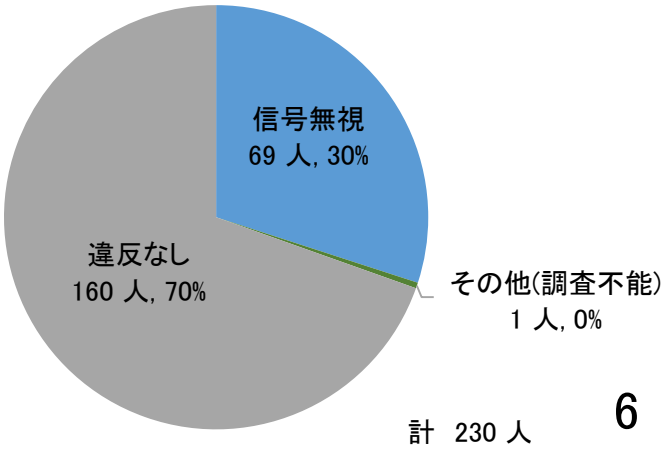


横断歩道横断中事故における法令違反別 歩行中死者数（第１・第２当事者）【令和２年】

〈車両等の法令違反別〉

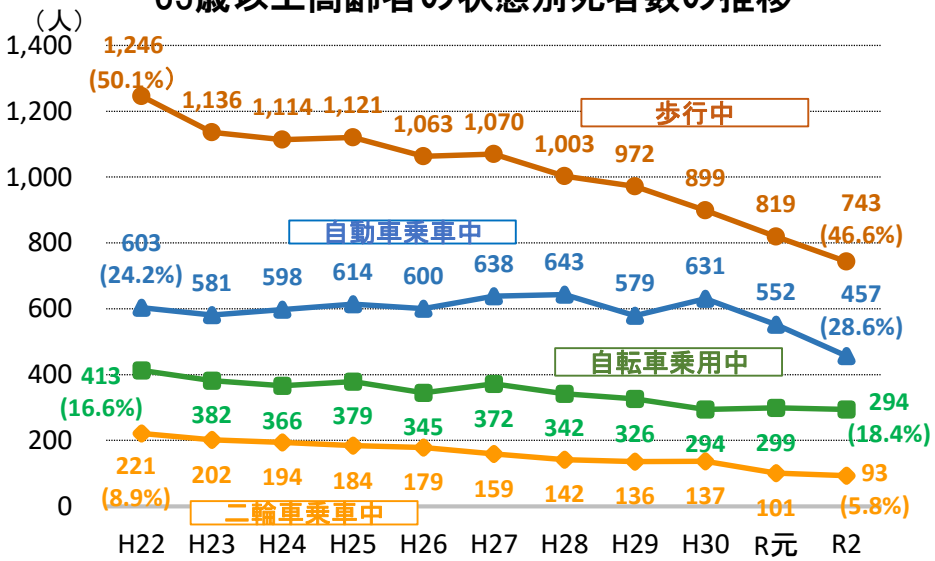


〈歩行者の法令違反別〉



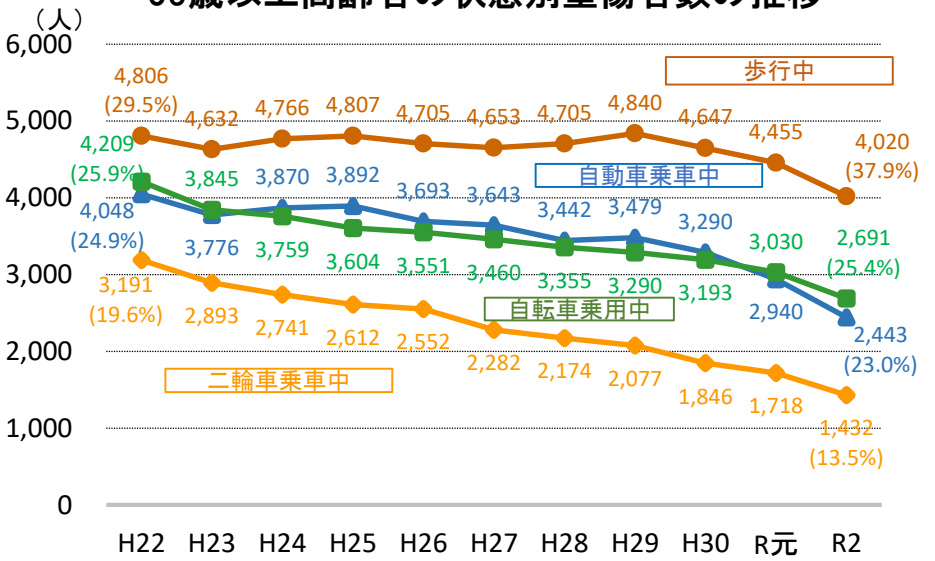
4　高齢者の歩行中死者数等の状況

65歳以上高齢者の状態別死者数の推移



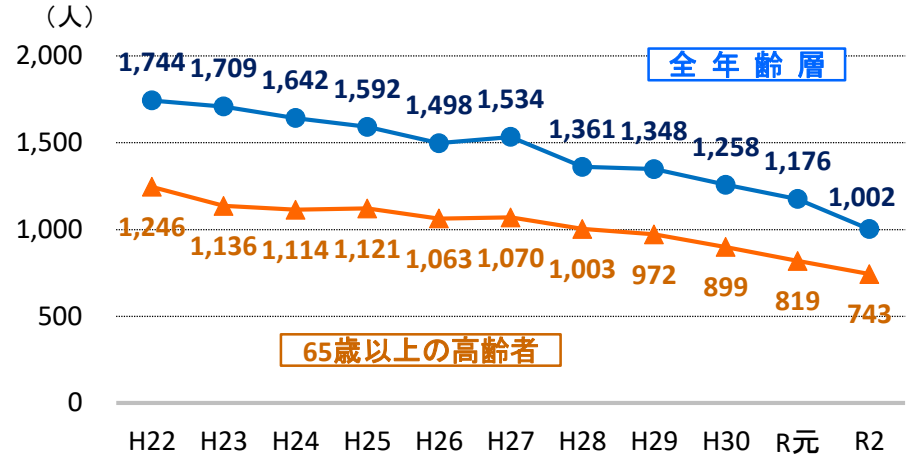
（注）・（　）内は65歳以上の全死者数に占める構成率

65歳以上高齢者の状態別重傷者数の推移



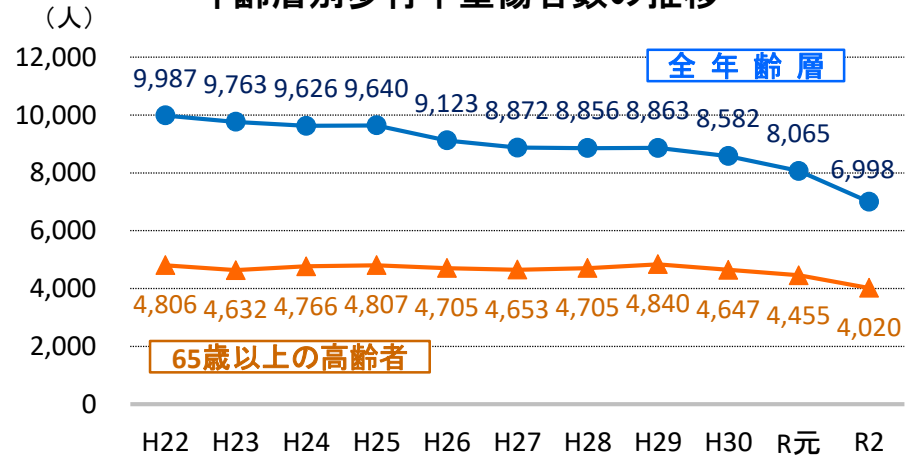
（注）・（　）内は65歳以上の全重傷者数に占める構成率

年齢層別歩行中死者数の推移



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者の割合	71.4%	66.5%	67.8%	70.4%	71.0%	69.8%	73.7%	72.1%	71.5%	69.6%	74.2%

年齢層別歩行中重傷者数の推移

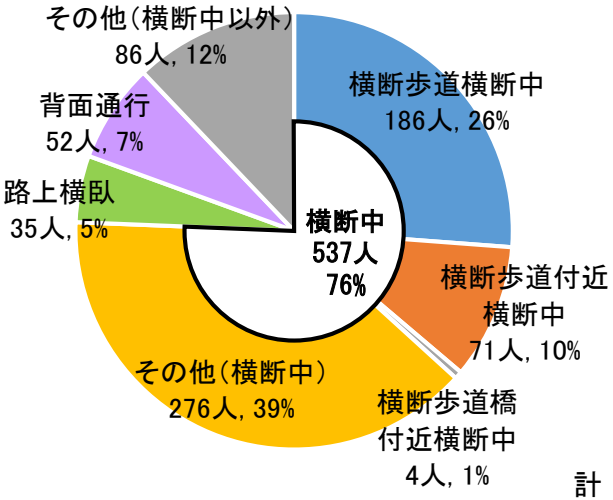


	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者の割合	48.1%	47.4%	49.5%	49.9%	51.6%	52.4%	53.1%	54.6%	54.1%	55.2%	57.4%

４－２　高齢者の歩行中死者数の状況

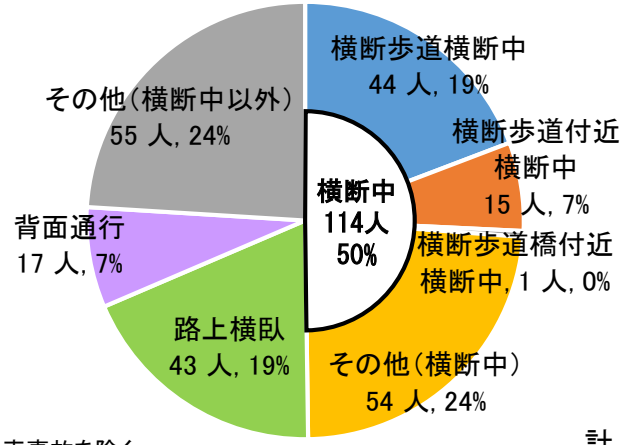
歩行者（第１・第２当事者）の事故類型別死者数【令和２年】

〈65歳以上〉



計　710 人

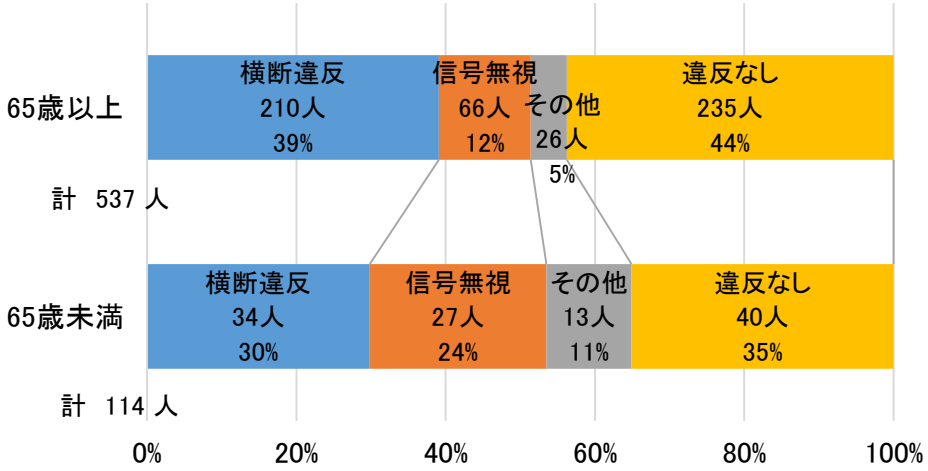
〈65歳未満〉



計　229 人

（注）・列車事故を除く。

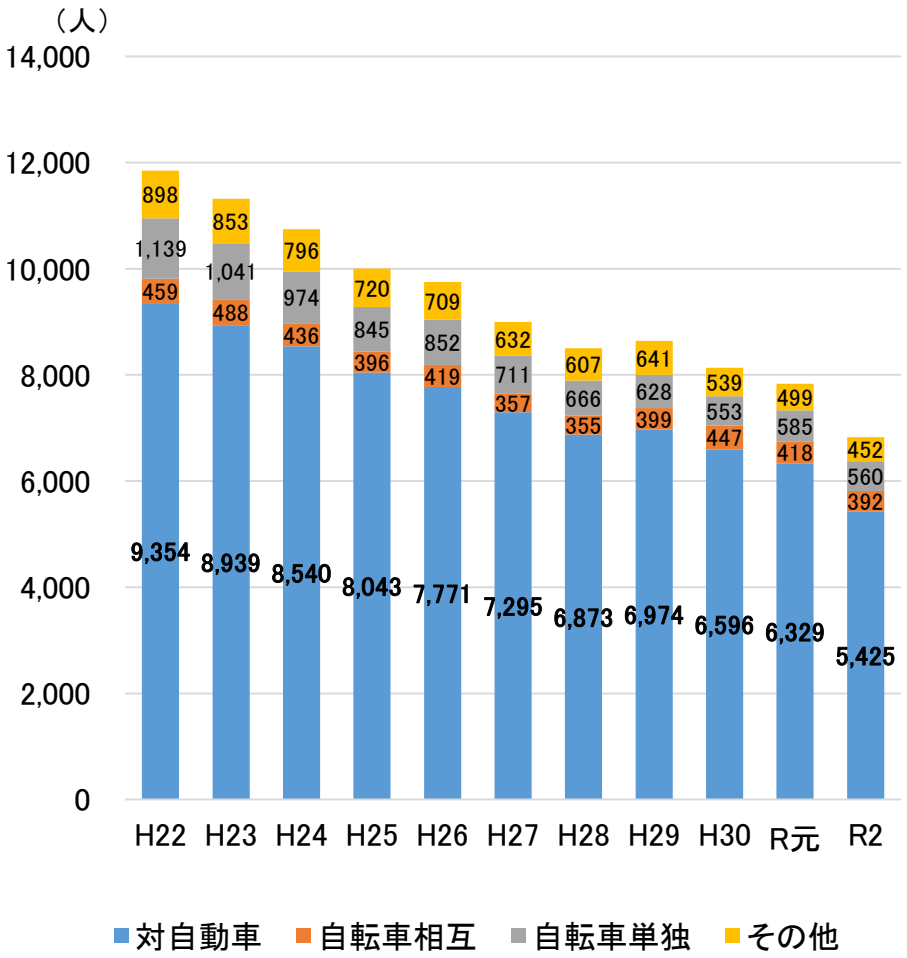
歩行者（第１・第２当事者）の横断中事故における歩行者の年齢層別法令違反別死者数比較【令和２年】



（注）・「横断違反」とは、横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等をいう。

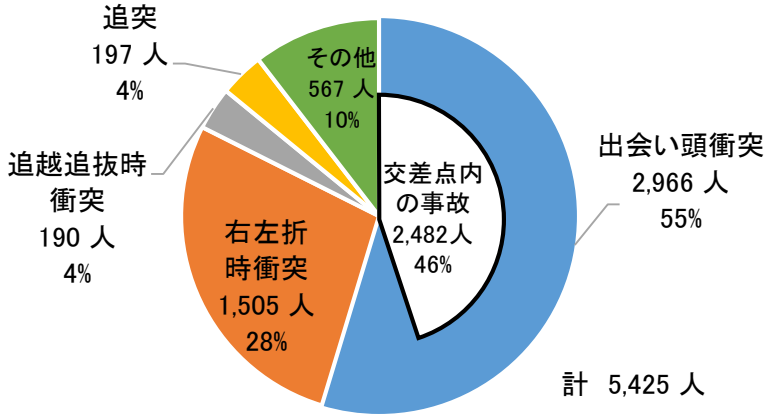
5　自転車関連交通事故の状況

相手当事者別自転車乗用中 死者・重傷者数（第１・第２当事者）の推移



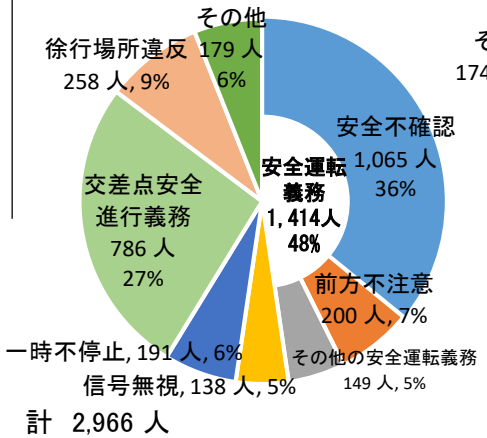
（注）・ 自転車が第１当事者又は第２当事者で死亡・重傷となった人数を計上した。

自転車対自動車事故における事故類型別 自転車の死者・重傷者数（令和２年）

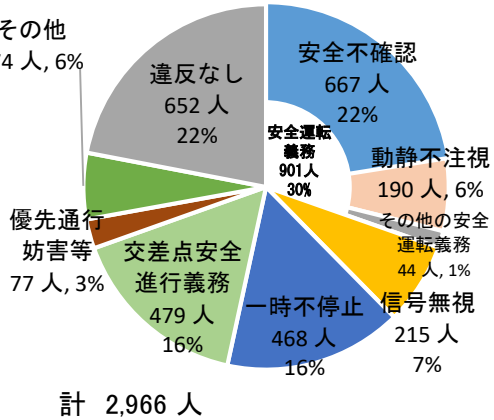


自転車対自動車の出会い頭事故における 法令違反別自転車の死者・重傷者数（令和２年）

〈自動車の法令違反〉

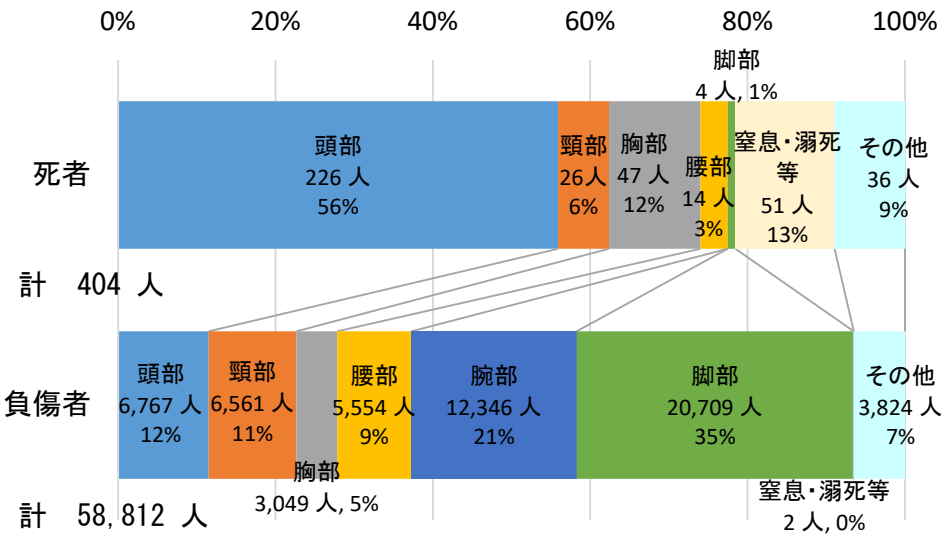


〈自転車の法令違反〉

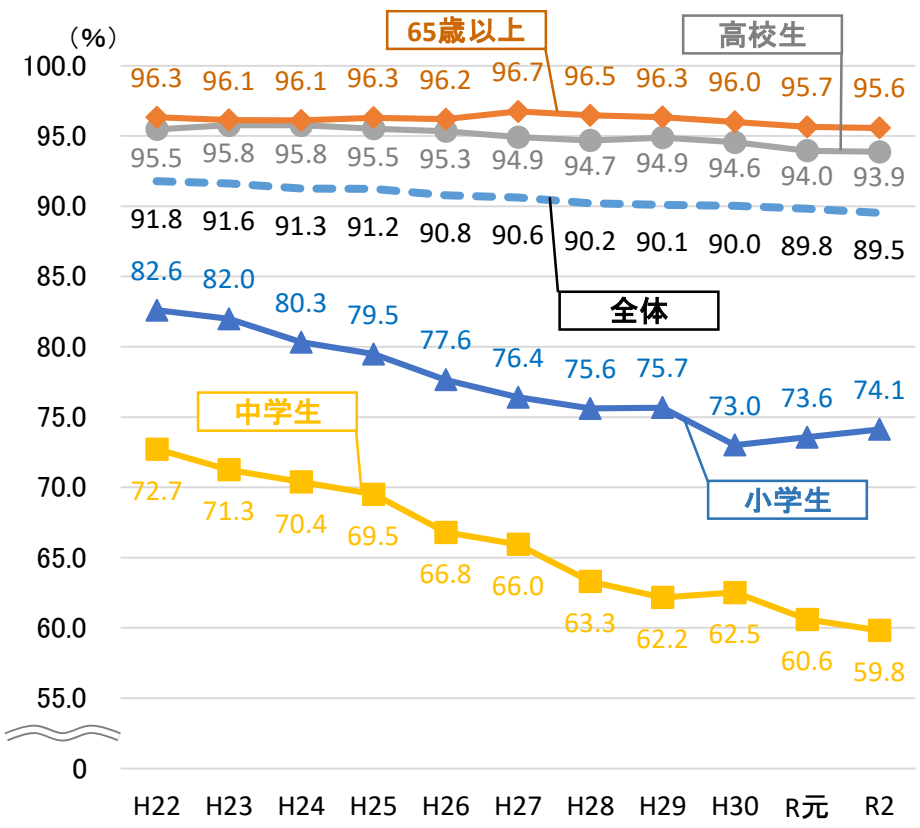


５－２　自転車関連交通事故の状況

ヘルメット非着用の自転車乗用中死者・負傷者の人身損傷主部位別比較（令和２年）

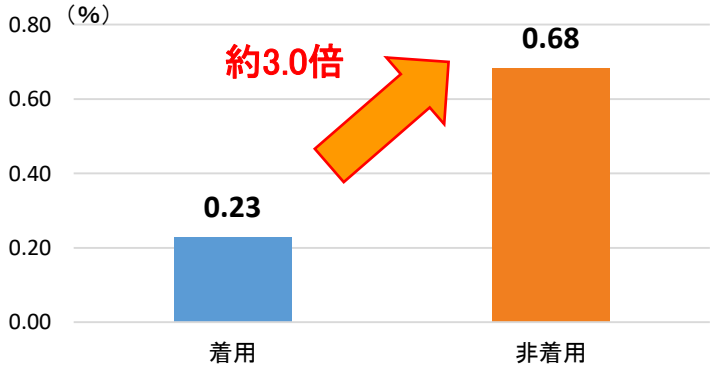


ヘルメット非着用者率（死傷者）の推移



（注）・「ヘルメット非着用者率（死傷者）」とは、自転車乗用中の死傷者のうち、ヘルメット非着用者の割合をいう。

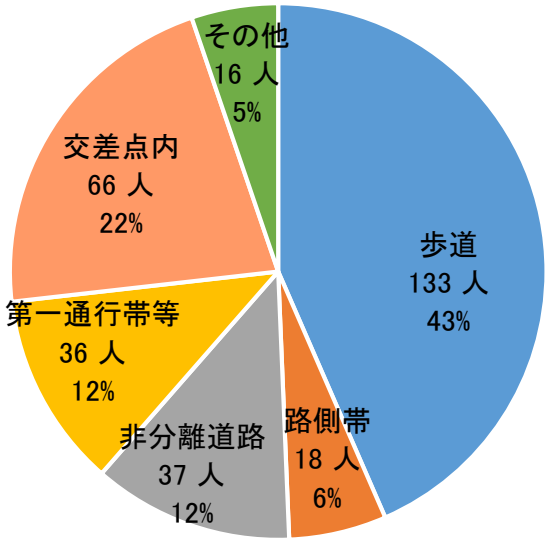
ヘルメット着用状況別の致死率比較（令和２年）



（注）・「致死率」とは、死傷者のうち死者の占める割合をいう。

５－３　自転車関連交通事故の状況

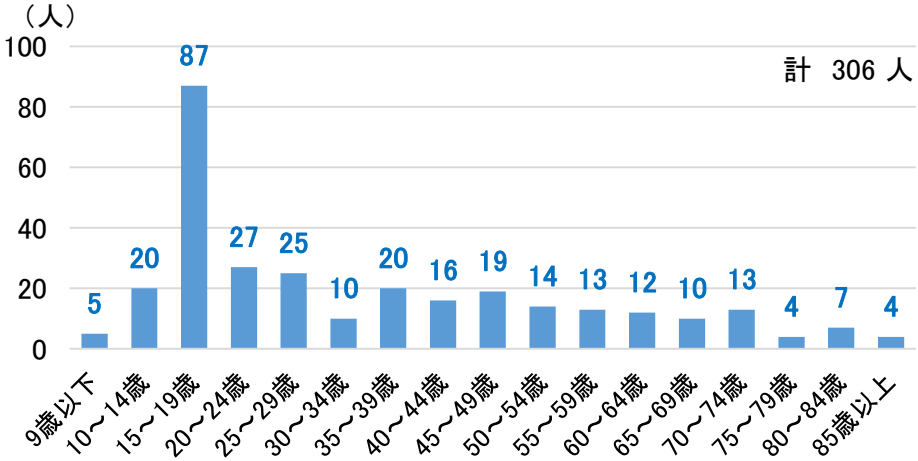
自転車対歩行者事故における衝突地点別 歩行中死者・重傷者数（令和２年）



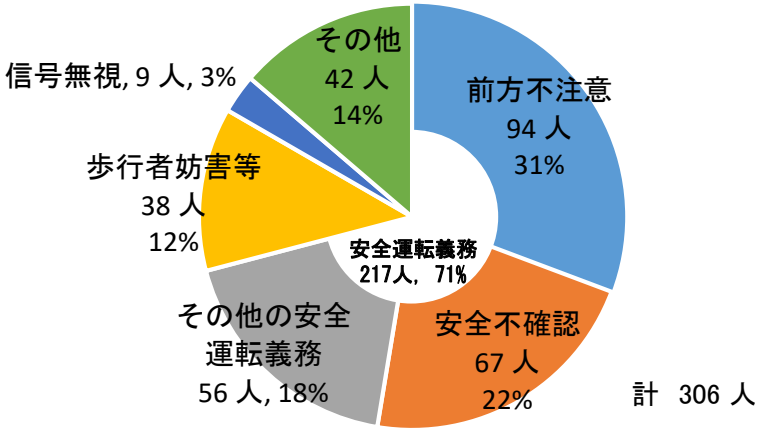
計　306 人

（注）・「交差点内」は、横断歩道、自転車横断帯を含む。
・「路側帯」とは、歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道の設けられていない道路又は道路の歩道の設けられていない側の路側寄りに、道路標示（白線）によって区画された部分をいう。
・「非分離道路」とは、中央線等により道路の中央が定められていない道路をいう。
・「第一通行帯」とは、中央線等により車両通行帯の設けられている道路の最も左側の通行帯をいう。

自転車対歩行者事故における自転車の年齢層別 歩行中死者・重傷者数（令和２年）



自転車対歩行者事故における自転車の法令違反別 歩行中死者・重傷者数（令和２年）

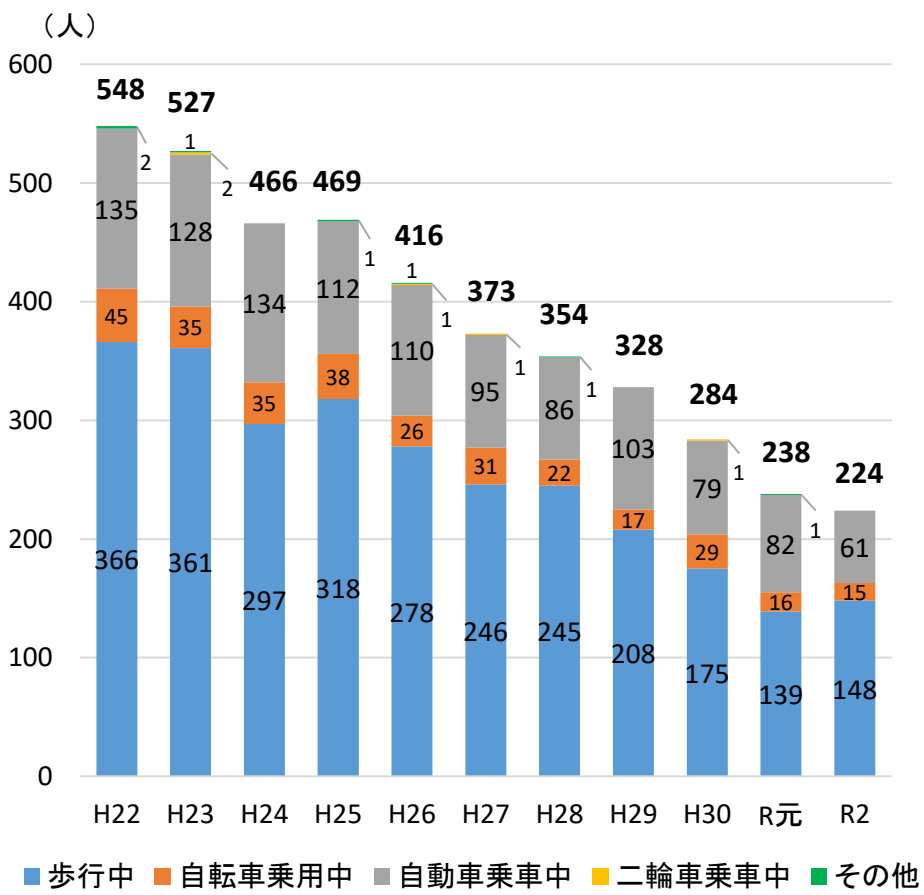


計　306 人

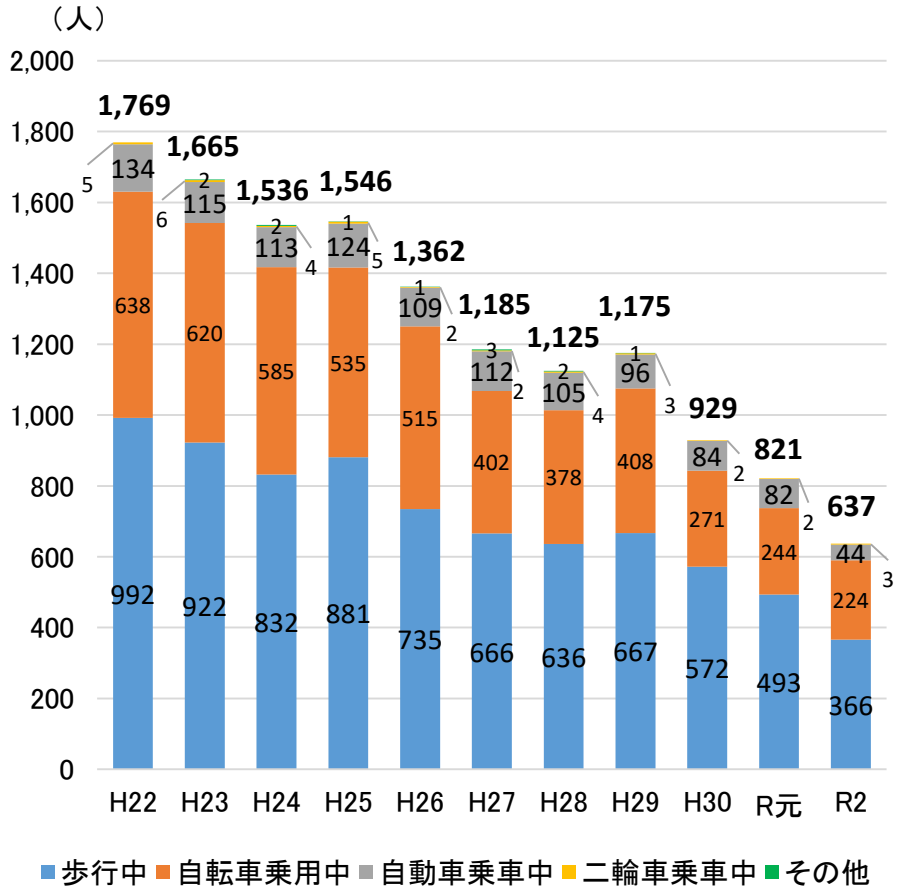
（注）・「その他の安全運転義務」は、動静不注視、予測不適、操作不適等を含む。

６ 子供の交通事故の状況

幼児（未就園児･就園児）の状態別交通事故死者・重傷者数の推移

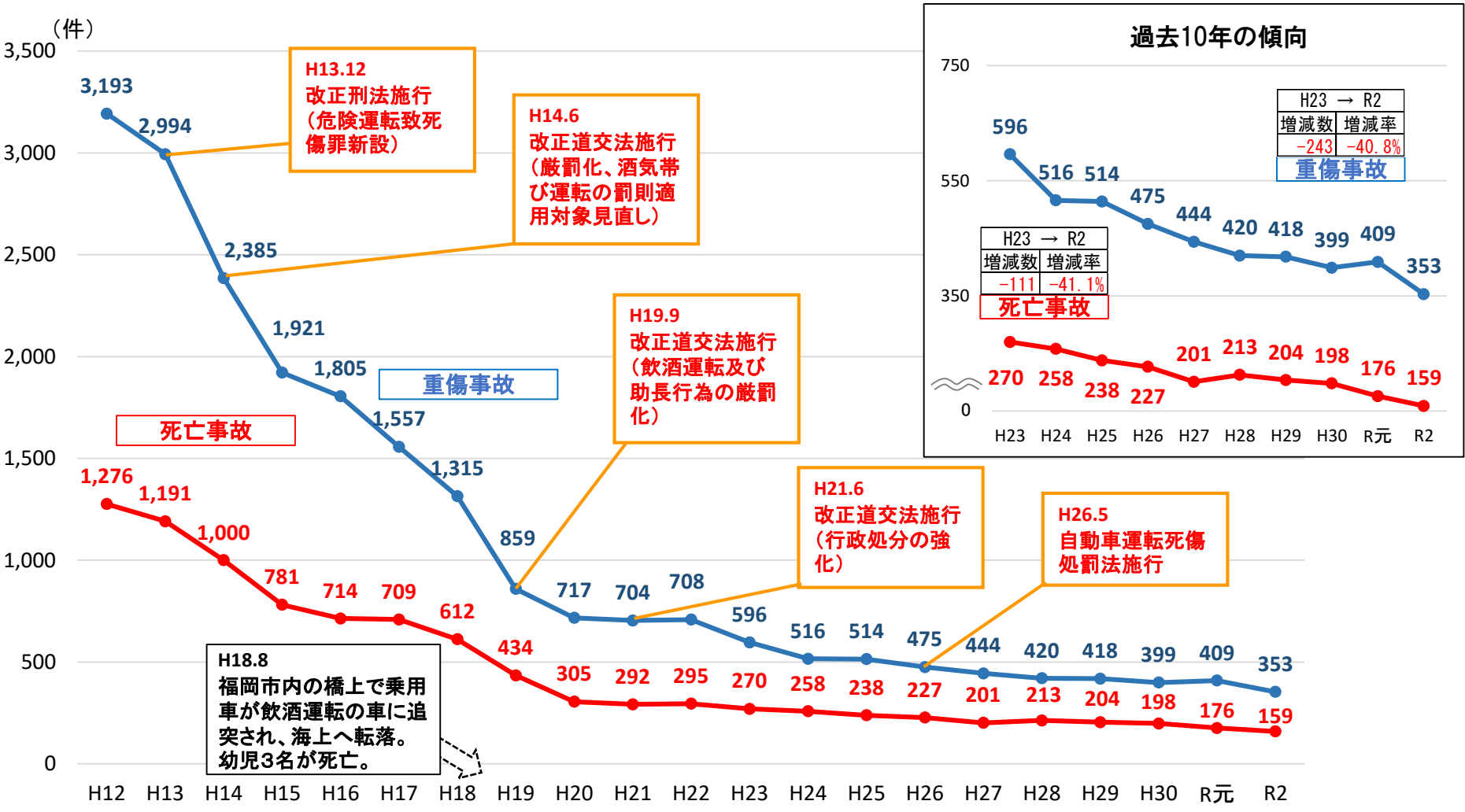


児童（小学生）の状態別交通事故死者・重傷者数の推移



7　飲酒運転による交通事故の状況

飲酒死亡・重傷事故件数の推移



（注）・ 第1当事者が原付以上の件数である。
・「飲酒死亡・重傷事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいう。